

# もっと楽しい! スラブ・ユーラシア

6月8日(土)

10:00~17:00

スラブ・ユーラシア研究センター  
4階ラウンジ



入場無料・申込不要

サイエンストーク

- ▶開発とグリーンランド独立：いま、北極で起きていること
- ▶ゴールデンカムイのサハリン島

パネル展

「いま、北極で起きていること」「サハリン島と先住民」

サハリン関連DVD上映

スラブ・ユーラシアの民族衣装と工芸品の展示

北大縦断!  
シールラリー  
すべてまわって  
北大グッズをGET!!

6月8日(土)  
10:00~17:00

施設によって開催時間が異なります  
のでご注意ください



SRC スラブ・ユーラシア研究センター  
SLAVIC-EURASIAN RESEARCH CENTER



## サイエンストーク 市民講座

パネル展示とサイエンストークは連動しております。  
聴講前にぜひパネル展示もご覧ください。

14:00~14:30 開発とグリーンランド独立：いま、北極で起きていること

スラブ・ユーラシア研究センター/助教 高橋 美野梨

北極海に接するデンマーク領グリーンランドで、独立の機運が高まっています。それを下支えするのは、近年の地球温暖化の影響で活気づく資源開発産業。グリーンランドでは、開発の実現可能性を高めるために、外国企業の誘致と、大規模な開発事業を展開していくための安い労働力の確保が目標されています。カラフルに色分けされた世界地図に、新たな色加わるかもしれない、そんな北極の「いま」を考えます。



15:00~15:30 ゴールデンカムイのサハリン島

スラブ・ユーラシア研究センター/教授 岩下 明裕  
釧路公立大学/講師 中山 大将

日露戦争後の北海道を舞台に始まった漫画「ゴールデンカムイ」はいまやその舞台を「樺太」にまで広げています。かつて「樺太」と呼ばれたサハリン島の南半分は今ではロシア連邦の一部として多くのロシア人が暮らしていますが、日露戦争後には日本領となり多くの日本人が暮らしていた場所でした。「樺太」とはどんなところだったのか、サハリン島での先住民の暮らしを中心に、北海道にとって「近くて遠い」サハリンの「いま」とつなげながらご紹介いたします。



### \*パネル展「いま、北極で起きていること」「サハリン島と先住民」

- ・グリーンランドが独立?!最新の「北極」事情をご紹介します。
- ・サハリン島への国境越えの旅!漫画などで最近、話題のサハリン島の現在の姿と状況を、写真と共に紹介します。

### \*サハリン関連DVD上映

稚内からサハリン・コルサコフへ。そして島を北上し、かつて日露の国境があった北緯50度線へ。日本にも陸上に国境があった時代を振り返り、昔と今の樺太とサハリンを映像でお届けします。そしてここには先住民たちの暮らしも。

### \*民族衣装と工芸品の展示

スラブ・ユーラシア各地の珍しい民族衣装や工芸品を展示します。色鮮やかなしゅうなど見どころが沢山です。ヤギのくるぶしの骨を使ったの運勢占い、手持ちの顔出しパネルで旅行気分を味わうコーナーもあります。

スラブ・ユーラシア研究センター  
SLAVIC-EURASIAN RESEARCH CENTER

人文・社会科学総合教育研究棟 (W棟)  
法学部  
附属図書館

増設で2階へ!  
色からは隠れていません

●クラーク像

正門

▲A メインストリートから  
人文・社会科学総合教育研究棟 (W棟)の正面玄関を  
入って右へ進み法学部に接続します。

▲B 正門方面から  
附属図書館の正面玄関を  
入って直進し通り廊下を  
通り法学部に接続します。

- ・法学部棟より2階へ上がります。
- ・法学部棟2階に、当センターへの連絡通路がございます。
- ・当センター2階「事務室」奥の階段、またはエレベーターで4階へ上がってください。

※各所の頭上に案内板がございます。あわせてご確認ください。

SRC 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター  
〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目  
電話 | 011-706-2388(直通) FAX | 011-706-4952  
E-MAIL | src@slav.hokudai.ac.jp URL | http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/  
後援: 北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道私立中学高等学校協会  
協力: 人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究」  
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点(NoA-SRC)